

「第1期砥部町 地域福祉活動計画」

ダイジェスト版



平成29年度～平成33年度

地域福祉活動ってなに？

それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域の福祉課題を解決するために取り組む考え方です。

特定の人のためだけでなく、すべての人のために行うのが地域福祉であり、日ごろの生活の中で手助けが必要になった時、地域住民はもとより、ボランティアや行政、専門機関と一緒に困っている人を支えていくしくみの事です。

地域福祉向上のための3要素

自助

自分でできることは
自分でする

共助

隣近所や友人、知人とお互いに
支え合い、助け合う
「地域ぐるみ」で福祉活動に
参加し地域全体で支え合い
助け合う

公助

制度や公的サービス
などによる取り組み



どんな計画？

地域住民の視点から、それぞれの暮らしている地域に対して「地域のあり方」を模索し地域福祉活動を実際に行動していくための計画になります。

砥部町では初の計画となり計画期間
平成29年度～平成33年度

5年間となります。

広田 地区

○笑顔で交流いきいき広田

福祉活動
キャッチフレーズ



砥部 地区

○しょうゆが借りれる地域づくり
○いろんな世代の交流が盛んな地域づくり

福祉活動
キャッチフレーズ



みんなで「力」を合わせましょう！

みんながいきいきと目標に向かって取り組んでいくことが、結果、町全体の活性につながります。「つながる力」「支える力」「気づく力」「続ける力」「輝かせる力」…。ひとつの力の高まりが、他の力の高まりへと連動していきます。これこそが“つながるしくみ”なのです

「だれもが幸せあふれる砥部町に」

宮内 地区

○楽しく元気な地域づくり
○穏やかで住みやすい地域づくり
○宮内団結

福祉活動
キャッチフレーズ



麻生 地区

○地域環境を活かした仲間づくり
○豊富な資源を活かした交流を
○住民間の「絆」を広げよう
○水資源を利用した地域交流の場整備

福祉活動
キャッチフレーズ



第1期砥部町地域福祉活動計画ダイジェスト版（平成29年3月）

編集/発行：社会福祉法人 砥部町社会福祉協議会

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南 719 番地

電話：089-962-7100（代表）FAX：089-962-7186

メール：info@tobe-shakyo.jp <http://www.tobe-shakyo.jp/>

目標4

子どもや子育てにやさしい地域を目指しましょう！！

地域の宝である子どもたちが地域でいきいきと育つため支援をします。子どもたちに故郷の思い出づくりや地域の良さを伝えましょう。

- 地域の子どもたちを見守り、声をかけましょう。
- 子どもを地域の行事に誘いましょう。
- 子どもたちが外で遊べる環境を地域でつくりましょう。

- 小中学校生を対象とした「生きる力を育む」福祉学習を行います。
- 子育て世代を対象とした福祉事業を推進します
- 世代間で交流できるイベントや企画作りをします。
- 子どもや子育て、生活の悩み事を伺います。

社協は



目標5

身近にできる親切やボランティア活動を始めてみましょう！！

「お互いさま」を口癖に。身近な親切や無理なくできるボランティア活動をおこなしましょう。

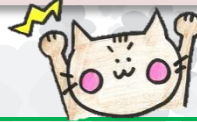
- ひとり一人がまず身近な親切を意識しましょう。
- 地域で無理なくできるボランティア活動を見つけましょう。
- 自分の趣味や特技をボランティア活動に活かしましょう。

- ボランティア情報をお知らせします。
- ボランティアさんを必要としている方とボランティア活動をしたい方の相談を伺いお互いを繋げます。
- ボランティアさんを育成する事業に取り組みます。
- ボランティアさんが活躍できる場、助け合いの仕組みを作ります。
- ボランティア交流やイベントでボランティアの輪を広げます。

社協は



計画の推進



1. 推進体制

本計画の成果と課題を明らかにするために計画の進行状況について評価委員会を設置し評価・検証をおこないます。

2. 計画の普及併発

本計画の推進にあたっては、地域住民をはじめとした関係機関や団体等と連携しながら進めていきます。そのために、「社協だより」ホームページなどを利用して幅広く町民の方に周知をおこないます。

3. 進行管理

Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（見直し）を繰り返す方法「PDCA サイクル」を活用し、計画のすみやかな実行または評価と改善をおこない実効性のある計画を目指します。

Plan
（計画）

Do
（実行）

Check
（評価）

Action
（見直し）



だれもが幸せあふれる砥部町に



目標1 住民同士つながりの輪をひろげましょう！！

<方針>

私たちの地域を知る。身近な近隣者との繋がりを持ちましょう。また無理のない範囲で地域行事に参加し住民同士が顔の見える関係を築いていきます。

<取組> ひとり一人、地域全体で心がけること

- 顔の見える関係に。ひとり一人があいさつをおこなひましょう。
- 無理のない範囲で地域の集まりに参加してみましよう。
- 地域の良さを探してみましよう。

- 地域に出向き、地域の声や課題を受け止めます。
- 地域の担い手づくりやお世話役の方への相談・支援をします。
- 地域のつながりが発展する事業に取組みます。
- 地域福祉活動の組織体づくりに取組みます。
- 社会福祉協議会職員も地域の一員として参加・支援します。

社協は



目標2 いきいき暮らせる地域をつくりましょう！！

住み慣れた地域でいつまでも、いきいき暮らせるように見守り・支え合い・生きがいがづくりができる地域を目指します。

- いきがいつくりに参加しましよう。また近所の高齢者・障がい者に声をかけましよう。(閉じこもり予防)
- 近所の高齢者・障がい者のちょっとした変化に気が付ける関係になりましよう。(高齢者を地域で支えましよう)
- 世代間交流の場を持ちましよう。

- 高齢者・障がい者の生活の困りごとを伺います。
- 高齢者居場所づくりの推進をします。
- 地域の老人会など高齢者の活動の場づくりをします。
- 介護や見守り、生活支援など在宅生活の支援をお手伝ひします。
- 地域住民の支え合い活動のしくみを作ります。

社協は



目標3 災害・非常時に住民間で支え合える関係になりましよう！！

常日頃、地域で防災学習や訓練を重ねながら、みんなが防災の意識を高め、非常時にも互い助け合える関係をつくっていきます。

- 近隣者同士、顔の見える関係づくりをしましよう。
- 地域には避難が困難と思われる方が暮らしていることを意識しましよう。
- 地域の防災訓練に参加しましよう。
- 平時から持ち出しできる避難グッズを備えておきましよう。

- 平時に地域や学校で防災訓練や防災学習を推進します。
- 地域の支え合いマップづくりなどを通じて地域の繋がり強化に取り組みます。
- 災害に遭ひ普段の生活ができなくなった方を専門的に支援します。
- 災害時、困りごとを支援するためボランティアさんの派遣や平時に災害ボランティアさんの育成をします。

社協は

